

2007-2008年度  
国際ロータリーのテーマ  
ROTARY SHARES  
ロータリーは分かちあいの心  
R.I.会長 ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

2007-2008年度  
アゼリアロータリーのテーマ  
クラブ会員と 地域の人々と そして未来を担う若者と  
“最も美しいもの  
笑顔分かち合いましょ”

〈本日の例会〉

■ 第 440 回例会 3月24日(月)  
夜間例会  
外部卓話「アジア眼科医療協力会 松本先生の報告」  
10周年慰労会 シャキャ アンジュさんの送別会

〈次回のお知らせ〉

■ 第 441 回例会 3月31日(月)  
フォーラム 社会奉仕委員会担当

〈前回の例会記録〉

■ ロータリーソング ROTARY  
■ ゲスト紹介 海南東の寺下卓さん  
■ ビジター紹介 和歌山北RCから1名  
■ 出席報告 会員数42名  
本日の出席 (3/17) 32名 76.19%  
前々回修正出席 (3/2) 39名 92.85%  
(内メイキップ0名)

〈四つのテスト〉

言行はこれに照らしてから  
I. 真実かどうか III. 好意と友情を深めるか  
II. みんなに公平か IV. みんなのためになるかどうか

●市内8ロータリークラブ例会情報

クラブ名	日時	内容
和歌山北	3月24日(月)	クラブフォーラム「識字率向上月間に因んで」
和歌山	3月25日(火)	
和歌山東南	3月26日(水)	IDM発表③
和歌山西	3月26日(水)	コーヒータイム
和歌山東	3月27日(木)	卓話「紀州材の活用について」
和歌山城南	3月27日(木)	リラックス例会
和歌山南	3月28日(金)	卓話「惑星X」
和歌山中	3月28日(金)	会員卓話

### 会長報告

会長 信川昌通

数は力なり。なんやかんや言ったって大勢で言わないと効果がない。

参議院では民主党が数多くいる。そうすると日銀総裁の人事権を握ってしまう。

ロータリーでの発言力、影響力は数で支配されてしまうのか。決してそんなことはないとおもいます。今日、地区の増強委員会が作られた会員拡大のパンフレットを皆様にお配りいたしました。考えてみますと今までなかったのが不思議に思います。

私自身は、数は力とは思っておりません。十人のふつうの会員より一人の優秀な会員の方がはるかに影響は強いと考えます。

十一年目がスタートしたアゼリアロータリークラブ、決して数を追い求めるのではなく、私たちとともに奉仕活動を行ってくれる、私たちの活動を理解していただける会員を増やしていければとふと、拡大のパンフレットを拝見して感じました。

### 幹事報告

幹事 安宅浩一

こんにちは、本日の報告ですが、来週(24日)の例会は夜間例会になっていますのでお間違いのないよう宜しくお願い致します。

### 委員会報告

◎ロータリー情報委員会 加納達之会員

4/7の例会は、IDMをクラブフォーラム形式で開催します。疑問点を取り出しておいてください。



## 「WCS活動について」

地区WCS委員 寺下 卓 氏(海南東RC)



本日は、お招きをいただき、誠に有難うございます。日頃は、地区のWCS委員会及びIT委員会の事業に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私は、地区では職業柄、6年前からIT委員会に参加させていただいておりますが、自分のクラブでは、世界社会奉仕活動(WCS)に長くかかわっており、地区でも前期から、WCSの委員会へ参加させていただいております。

また、今年度は、特に地区のWCS海外視察で、5月15日からフィリピン・セブ島に行くことになり、私のクラブがお世話することになっています。このため、本日の卓話は地区の取り組みとフィリピンでのWCS活動についてお話しさせていただきます。

まず、当地区の世界社会奉仕(WCS)委員会の取り組みですが、既にご承知のように、基本姿勢として、水管理、識字、保健・飢餓問題を重点に「IM又はクラブ単位でのクラブ主導型のWCS(世界社会奉仕)活動」を推奨しています。

WCSの取り組みにつきましては、1962年から、2カ国以上のロータリークラブが共同でプロジェクトを実施することを基本にスタートしました。また、RIでは、1967年からはWCSプロジェクト交換事業が開始され、プロジェクト交換一覧のデータベースを活用して、パートナー探しを支援しています。なお、資金については、ロータリー財団補助金プログラムとして、マッチング・グラント・プロジェクトを活用するなど、いくつかの補助プログラムが用意されていますが、これらの補助プログラムは、手続きが難しく、制約も多いことから、活用しづらいという欠点もあります。

このため、当地区では、独自の「WCS地区ファンド補助金」を設け、出来るだけ多くのクラブが自主的に活動してもらえる制度として、活用いただ

ております。

地区ファンドの資格要件は、最低2カ国(プロジェクト実施国以外の援助国およびプロジェクト実施国)のロータリークラブあるいは地区が、協力してプロジェクトを計画、実施、完了するものとし、事前に地区に申請し、承認を受けていただきます。地区ファンド金額は、会員一人当たり年間6,000円(上限)の同額補助となっています。地区内の各プロジェクトは、年度単位でホームページに掲載していますので、是非、ご覧ください。また、会員規模の関係で地区内の複数のクラブが共同して参加してもらうことも出来ます。

なお、WCSの情報や参考資料等は、最近ではホームページで、かなり詳しく掲載されています。是非一度ご覧いただきたいと思います。

WCSプロジェクトはマッチング・グラント・プロジェクトと同じものであるという誤解があります。マッチング・グラント・プロジェクトと同様に、WCSプロジェクトは2カ国のロータリークラブが関連するものです。しかし、WCSプロジェクトとみなされるのに、必ずしもロータリー財団からの資金を受領する必要があるというわけではありません。多くのWCSプロジェクトは他国のクラブから直接資金を受けています。さらに、すべてのWCSプロジェクトがロータリー財団からのマッチング・グラントの資金を受ける資格基準を満たしているわけではありません。WCSプロジェクトは、相互の国際理解を深め、お互いのクラブがWCSを通じて親善の絆を培っています。このため、さらに、クラブにおけるWCSへの関心を高めるため、ロータリーファミリーの方々にも直接、世界奉仕活動に参加して頂き、ロータリアンである喜びを感じてもらおう活動を推進するために、クラブの自主性を最優先し、クラブが目標を達成する上で必要な情報と支援をご提供くださいますようお願い申し上げます。

次にフィリピンのWCS活動について、ご報告いたします。

手前みそになりますが、海南東RC、海南西RC、

有田2000R C、御坊東R Cの4クラブが共同で実施いたしましたWCSプロジェクトについて、昨年の10月11日から14日まで、現地のフィリピン・セブを訪問いたしましたので、その状況について、ご報告させていただきます。

フィリピンが抱えている貧困問題は、生活環境や人口問題、教育に至るまで、大きな影響を与えています。私たちは、過去において、水対策や生活環境の改善、人口問題、医療・出産・健康管理、孤児問題、デイケアセンターなど取り組んできました。しかし、将来的な改善においては、まだまだ不十分で、今後は、時間がかかりますが、根本的な貧困からの脱却に伴う、教育・就業といった人材育成が不可欠です。

私たちが支援するフィリピン・セブでは、貧困家庭が多く、行政の支援も少ないことから、教育環境の整備が遅れており、学校設備も充実していません。また、親の子供に対する教育においては、目先の生活に追われる中で、将来に対する教育の考え方が乏しく、貧困から脱却できない等の悪循環に陥る問題を抱えています。このため、セブの各ロータリークラブでは、将来の職業、ビジネスに活かせる技術の習得が急務であると考えており、行政やRCC（ロータリークラブ共同体）と協力して、将来を見据えた子供に対する教育。特に今後の社会で重要となるIT教育に着目し、推進しています。日本側のプロジェクトは、日本で不要となったパソコンを回収し、再整備し、フィリピンの小学校等で再度、役立ててもらうことから始めました。中古パソコンの輸出では、和歌山税関（無税）及び近畿経済産業局（輸出規制）の了解も得られ、同時にフィリピン側の受け入れについても問題なく手続きでき、合計60台のパソコンを送ることができました。

具体的には、

- 1) 日本の中古パソコンを現地の小学校等へ送り、設置し、IT教育を実施する。
- 2) IT教室の設置、整備を行う。
- 3) IT教育の実施にあたっては、現地のロータリーアン、協力団体、組織で知識のある者が教育に

あたる。

- 4) 親の子供達に対する教育目的、意欲の啓蒙を行う。

等の事業を実施しました。

さらに、2006年2月17日に発生したレイテ島南部での地滑りの被害を受けたセント・バーナード、ギンサウゴン村の住民への医療支援、教育支援など、多くの支援事業を実施しています。

#### [支援金の明細]

海南東R C	426,000 円
海南西R C	144,000 円
有田2000R C	114,000 円
御坊東R C	120,000 円
合計	804,000 円

また、今回の視察では、来年5月に地区のWCS海外視察がフィリピン・セブ（R.I.D.3860）に決まった関係もあり、同地区の多くの7クラブの例会に出席いたしました。いずれものクラブもメンバーが20名前後のクラブですが、社会奉仕活動に真剣に取り組んでいます。そして、今回の視察を契機に、私たち2640地区のサポートを望んでいます。各クラブの計画を取りまとめているので、引き続き、ご協力よろしくお願いします。

#### 海南東R Cの取り組み

2002-2003年度	給水配管（井戸）及び浄水装置の設備、ビタミン供給と教育援助、孤児の職業トレーニング支援、孤児院の支援
2003-2004年度	人口問題と生活改善（出産健康管理・助産施設、デイケアセンター整備）
2004-2005年度	第3810地区ルバング島R C カシュウナツ植林プロジェクト 苗木15,000本 鶏、豚の増殖レンタルプロジェクト 鶏100羽、豚50匹
2005-2006年度	第3860地区マングウエ・イーストR C

職業問題と教育環境の改善

(IT教育支援)

日本の中古パソコン60台を再整備し、小学校等に設置

2006-2007年度 フィリピン・レイテ島南部での地滑りの被害の復興支援、IT教育支援

2007-2008年度 フィリピン障害児への車椅子等の支援

### 《給水タンク》

私が、これまでのWCS活動で感じたことは、水管理、識字、保健・飢餓問題といった「生命」や「生活」などの問題の全ての根源は、政府や地域行政の問題と底辺の住民が貧困と戦っているということです。更に、災害や戦争などの要因も重なり、追い打ちをかけているといった悲惨なケースもありますが、私たちの支援のあり方、WCSの活動も少し考え直す必要があるのでは？と最近、感じています。

活動や支援プログラムには当然お金が必要ですが、金額の大小にかかわらず、一時的な生活支援金は、根本的な解決にはならない気がします。たとえ、小規模なプロジェクトであっても、将来に役立つ地道な活動に活用してもらいたいと思います。貧困からの脱却が無い限り、瞬間的に生活が満たされてもすぐもとの悪循環に陥ってしまいます。このため、自立に向けて、生きがいを感じ、目的や希望を持って労働し、生活の糧が得られるための支援が必要ではないでしょうか。労働や生産活動に必要な技術や知識の習得、農業や漁業など生産活動に必要な原資など、具体的に地域の立地や環境にあったプロジェクトを現場のロータリークラブと相談しながら進めていく必要があります。相手のロータリークラブだけにプロジェクトを任せてしまうと後でトラブルや信頼が損なわれたりするケースも多々あります。

もちろん困っている人々は全世界に沢山おられますし、私たちの力では全てを支援することは出来ません。また、支援する団体や組織もロータリーだけではありません。

ただ、少なくとも、縁あって共同でWCSのプロジェクトを一緒にすることになった相手国のロータリークラブとは、必ず訪問し合い、自分の目で見て、肌で感じ、同じロータリアンとして、友好・交流を深め、信頼を築いていく中で、困っている現状を正しく理解することができ、支援プログラムと一緒に考えていくことが、出来るようになるのではと思います。

最後に、今年5月15日からの地区WCS視察へのご参加と、今後も引き続き、WCSに対するご理解とご協力をお願い申し上げます。

### S・A・A報告 【3つの箱】

#### \*ニコニコ箱

海南東RC 寺下 卓さん 本日卓話よろしくお願ひします。

大野治朗会員 先週卓話コーナー欠席してすみません。トリプルS。

田端順造会員 先週は誕生日のお祝いをいただき大変うございました。3/9に娘の結婚式を明治神宮でとり行いました。淋しいというより何となく空洞感があります。少しウルウルしました。

辻 曙生会員 海南東RC寺下タカシ様お忙しい中卓話に来て頂きありがとうございます。これからも宜しくお願いします。トリプルS。

當仲清孝会員 本日で1才になりました。星座は魚座です。水を得た魚の様にとっているのですが・・・？です。誕生日プレゼントありがとうございました。

吉岡恵美会員 先週金曜日 3ヶ月ぶりに息子が職場復帰しました。本当にうれしかったです。

本日合計額 38,000円 今年度累計額 871,500円

#### \*ロータリー財団

大野治朗会員 辻 曙生会員

本日合計額 8,000円

#### \*米山奨学

大野治朗会員 辻 曙生会員

本日合計額 8,000円